

南区の魅力を広くアピール!

2/26、3/4

～「札幌南シーニックバイウェイ」候補ルート申請～



▲申請直前のルート運営代表者会議の様子

2月26日、真駒内総合福祉センターで「札幌南シーニックバイウェイルート運営代表者会議（会長 福士昭夫）」が開催されました。シーニックバイウェイのルート指定を受けた地域は全国的に広く紹介されるほか、他地域との連携が深まるというメリットがあります。南区でも、地域のさまざまな団体の皆さんが協力して、第一段階の「候補ルート」の指定を目指して検討作業を進め、この日の会議では、候補ルート申請の最終確認を行いました。

3月4日、福士会長がシーニックバイウェイ北海道推進協議会の事務局を訪れて、候補ルートの申請書を提出しました。

この候補ルート申請の結果については、審査を経て5月中に発表される予定です。



▲会長が申請書を提出

南区は大都市の中にありながら、豊かな自然に恵まれ、芸術・観光・教育関連の施設も充実した「住んでよし、訪れてよし」といえる地域です。今後もシーニックバイウェイによって南区の魅力を広くアピールし、官民一体となって、地域活性化を進めていきます。

※南区のホームページ：<http://www.city.sapporo.jp/minami/shinko/scenic/index.html>をご覧ください。

見る・知る・遊ぶ

ふるさと②③

みゆき通り

札幌中心部から、国道230号（石山通）を南下すると、南33条西10丁目目三差路

があります。ここを直進すると「みゆき通り」です。昔ながらの商店や建物が立ち並び、趣のある「この通り」を「みゆき通り」と呼ぶようになったのはなぜでしょうか。

明治14年、明治天皇は北海道開拓の状況を視察すべく、真駒内牧牛場をご覧になった後、渡船場から「この通り」を通行されました。天皇の外出を当時は皇室用語で「行幸（みゆき）」と表現されていたことから、後に「この通り」を「みゆき通り」と呼ぶようになりました。



▲みゆき公園内にある石碑



▲現在のみゆき通り

みゆき通りを南下すると左側にある「南35条みゆき公園」内には「明治大帝御巡幸之碑」が建てられており、みゆき通りの歴史を静かに伝えていきます。

所在地 南33条西10丁目目
南35条西10丁目付近

